

# 考・努・感

尾張旭市立旭中学校

旭中学校ウェブサイトもご覧ください。

<http://www.owariasahi.jp/asahi-j/>

## 小さな一歩、確実な一歩を大切に！

- 毎日、読書をする←いろいろな考えを身につけるため
- 毎日、自分の日誌(日記)をつける←自分と向き合うため
- 外部講師の講義を聴く←その道のプロの話聞くことで、意識を高めるため。
- 『一球目の大切さ』を重視する←一球目は1日1回しかない。試合に臨む気持ちを高めるため。

今年のプロ野球日本シリーズは、本当に素晴らしい戦いの連続でした。まさに見ている人に、野球の醍醐味を感じさせる戦いの連続でした。まさに『プロの戦い』でした。

上に紹介したものは、日本一になった日本ハムファイターズが大切にしていること・取り組んでいることの一部だそうです。プロの世界と学生のみなどでは世界が違うと思うかもしれませんが、個人的には共通することだと思います。何事も、日々の積み重ねや集中して取り組むこと・小さな一歩かもしれませんが、確実な一歩が自分自身を成長させてくれる一番の近道であり、最善の方法です。みんなはどんな小さな一歩、確実な一歩を続けていますか。



### 【「合唱」で大切にしてほしいこと】

#### ～「聴く」心構え～

いよいよ来週は文化発表会です。今、各クラスでは本番に向けて必死に練習しているところだと思います。みんなにはクラス合唱を通して、『みんなで努力することの素晴らしさ』や『クラスで歌声を創り上げることの楽しさ』などを体感してもらいたいと思いますが、もう一つ体感してもらいたいことがあります。それは、『きく』ということです。「きく」を漢字で表すと、『聞く』と『聴く』があります。みんなはその違いを理解していますか。辞書を引くと、

**聞く：**耳で音や声を感じとる

**聴く：**耳を傾け、注意して聞き取る

と書かれています。歌や合唱は『聴く』を使います。10日(木)の文化会館での本番当日はもちろん、7日(月)に体育館で行う2回目の学年リハーサルから『聴く』ことを大切にしていきたいと思います。



### (来週の予定)

- 7日(月) □座振替日  
合唱練習(at体育館)
- 8日(火) 合唱練習(at音楽室)
- 10日(木) 文化発表会 ※弁当  
午前：合唱  
午後：旭祭(旭フェス)

いよいよ2学期最大の行事『文化発表会』です。午前の部も午後の部も、みんなの力で成功させましょう。そのためにも今日を入れて残り4日。自分にできることを考えて取り組んでいきましょう。



# 自分自身を高めるために！

「今の自分を変えたい！」今の自分から逃げる訳ではなく、自分自身に対して『変化』を求めている、求めたい人はいらっしゃいます。今の自分に満足することなく、さらに高めていこう、成長しようとすることは、とても大切なことだと思えます。そのためには、自分自身を客観的に見つめる・分析することが必要とされます。自分自身の弱い部分・短所を見つめることは、時として辛い思いをすることもかもしれませんが、しかし、今の自分にプラスの変化をもたらすためには、通らなくていけない道です。左に紹介した同世代の二人の言葉・考えを参考にしてみてくださいでしょうか。



中嶋 桃伽 高校生

(名古屋市南区) 16歳

私は感情を表に出すことが苦手だ。でも、それは心の底から感じる本当の感情に限られる。だから周りに自分の意見を言ったり、自分の意思で物事を進めたり

## 感情出せない自分卒業

することができない。多分、何事もなく、平和に過ごしたいという自分がどこかに存在しているためだと思っていた。

ある日、何げなく手に取った漫画を読んで衝撃に近しいものを受けた。好きにな

った人には彼女がいて、絶対に身を引かなければならない立場なのに、主人公は絶対に諦めない。

私は、この主人公はなんて強い人なんだろうと思っただ。それと同時に、自分はどうだろうかと考えた。平和に過ごしたいというのはうそで、私はただ逃げているだけの弱い人ではなかったのか。他人とのぶつかり合いを避けていたら何も変わらぬ。だからこそ、私は強くなりたいと思っ

た。

10月12日 (中日新聞)

## 責任感持てる大人目標

藤谷 美奈 高校生

(名古屋市天白区) 17歳

私は今、大人になることが怖い。子供のままでいたという甘えではない。将来、大人として生きていくかどうかに不安を覚える。責任感がしっかり持てていないからだと思う。

高校に入ってから、学校行事の音楽会で編曲を務めた。誇張して言うと、私の編曲次第で入賞するかどうかが決まってくる。その重大な役割を任せられたにもかかわらず、クラスメートの期待に応えられる自信は

なく、果たしてこの編曲で

いいのかと毎年迷っていた。時に編曲のための期限を延長させてもらったこともあった。一般の社会では、約束が高校生の今以上に厳しいものになる。謝って済むものではない。

私に必要なことはあらかじめ計画を練ることだと思っている。任せられた作業のほとんどで、やみくもに取り掛かったものの期限内に間に合わないことがよくあった。社会に出るまでのもう少しの時間を利用して、責任感の持てる人間になれるよう少しずつ変わって

きたい。

10月28日 (中日新聞)